

平成27年度二番茶実収報告

高知県農業技術センター茶業試験場

1. 摘採日

本 年	前 年	平 年
6月12日	6月19日	6月21日

1) 平年値はH22～H26年の平均値。以下同じ。

2. 生葉収量 (kg/10a)

本 年		前 年		平 年	
収 量	指数	収 量	指数	収 量	指数
251±54	59	316±72	74	428±105	100

1) 可搬型摘採機による5カ所の平均値。

3. 百芽重 (g)

本 年		前 年		平 年	
重 量	指数	重 量	指数	重 量	指数
28.2±2.0	72	33.3±1.7	85	39.4±6.3	100

1) うね長0.2mの帯摘み5カ所の平均値。以下同じ。

4. 新芽数 (本/m²)

本 年		前 年		平 年	
本 数	指数	本 数	指数	本 数	指数
557±125	69	615±158	76	813±179	100

5. 出開度 (%)

本 年	前 年	平 年
70.1±7.4	55.9±11.9	72.1±11.5

6. 概況

(1) 気象

気 温：平均気温では5月第1、第4、第6半旬で平年よりも2度程度高かった以外はほぼ平年並みに推移した。

降水量：5月の降水量は144mmで、平年の78%と少なかった。

(2) 茶芽の生育

本年二番茶は平年と比較して、百芽重で72%、新芽数で69%と生育がかなり劣った。収量においても平年の59%と著しく少なかった。

一番茶の収穫量が少なかったことと5月の雨量が少なかったことが、収量の減少に影響したと考えられる。

場内では、カンザワハダニ、チャノナガサビダニ、チャノホソガ、もち病の発生が見られた。